

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年4月18日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104563
法人名	医療法人 春風会
事業所名	グループホーム はるかぜ黎明
所在地	鹿児島県鹿児島市照国町3番18号 (電話) 099 - 227 - 1180
自己評価作成日	平成31年3月11日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/connten/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番26号
訪問調査日	平成31年4月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

当事業所は、鹿児島市の閑静な住宅地にあるグループホームであり、高齢化・重度化した利用者が多いため、地域の方々と交流を図りながら、日々の生活を充実したものとしていただくために、御家族の皆様のご協力を頂きながら家庭的な雰囲気づくりに心がけています。

<地域との交流は、運営において最も重要と認識し、地域の方も協力的です。>

- ・地域の皆様と交流するため、町内会・あいご会等にも積極的に参加しています。
- ・防災対策等も町内会に「ヘルプ照国」を立ち上げていただいています。
- ・近くのコンビニやケアハウスにも緊急時にご協力をお願いしています。

<利用者の方々が、健やかにすごしていただくよう努めています。>

- ・照国神社・平田公園・ザビエル公園等に散歩に出かけるようにしています。
- ・天文館も近いため外食に行ったり、御家族に連れて行っていただいています。
- ・花見、甲突川木市、仙巖園菊祭、おはら祭、照国神社豆まき、6月灯、山下校区 文化祭、敬老会等にご家族様の協力も頂きながら行っています。
- ・またホーム内では、誕生会等も皆様のご協力を得ながら行っています。

○利用者の方々が、毎日笑い声が絶えず、やりたい事・言いたい事を遠慮なくできるグループホームを目指しています。

○母体が医療法人であるため、24時間緊急対応ができるようになっています。

○ここ数年、離職率が少ないのが自慢です。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点 (評価機関記入)】

- ・当事業所は、市のほぼ中心街地にあり、照国神社を背景に、いくつかの公園も点在する静かな住宅地域に立地している。町内会に加入し、総会や地域行事にも積極的に参加し、事業所の行事にも地域の人々の参加がある。防災対策等も町内会に「ヘルプ照国」を立ち上げてもらっている。認知症に関する相談や情報提供を行う等、地域との関わりを大切に交流している。
- ・家族や友人・知人の訪問や外出、外泊される利用者もいて自由に過ごしている。
- ・母体が医療法人で24時間対応の医療連携体制が構築されており、緊急時に適切な医療が受けられる。
- ・管理者と職員のコミュニケーションが取れていて働きやすい職場であり、離職者が少ない。各種研修会への出席も奨励している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	自分達で作上げた理念に基づいて毎朝唱和し、認識してケアを行なっています。	理念は、玄関・事務室・パンフレットに掲示されている。申し送り時に意識づけし、全体会議で確認しながら、その理念を共有して実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域、あいご会、校区の催し物等、声をかけて頂き参加しています。小学生、中学生が下校途中や休みの日に、立ち寄ってくれたり、ご近所の皆さんもよく声かけして下さいます。	町内会に加入しており、校区の文化祭、地域行事に参加している。事業所行事にも地域の人々の参加があり、看護学生の実習やボランティアの受け入れ等行っている。職員の子供達も遊びに来たりしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	町内会の総会や地域行事等に参加し、交流を通して、理解や支援を頂いています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催しています。ご家族、地域住民、民生委員、長寿あんしん相談センターの方々に参加いただき、ホームでの取組みや様子を報告し、ご意見をお聞きしサービスの向上に努めています。	定期的に会議の開催を行っており、事業所の状況やヒヤリハット、事故報告、外部評価の報告等を行い、参加者からも多くの助言や提案がある。認知症の相談や車いすの購入について、地域の困り事等も検討している。出された意見を参考にサービスの向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>長寿あんしん相談センター スタッフをはじめ、市役所とも空き状況や困難ケース、クレーム、事故状況等連絡を取りながら、協力関係を築いています。</p>	<p>市の担当者とは電話や窓口に向向いて事業所の実情等や取り組みを伝えている。介護相談員の受け入れも行っており、市主催の研修会にも参加している。運営推進会議に長寿あんしん相談センターの職員が参加する等、協力関係ができています。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>毎月身体拘束廃止について勉強会を開き職員全員が身体拘束をしないケアを行なっています。正面玄関の鍵は常に開けてあります。</p>	<p>身体拘束廃止委員会で毎月テーマを決めて勉強会を行い、職員の共有認識を図っている。全職員が身体拘束、言葉の拘束等をしないケアに取り組んでいる。日中の玄関は施錠していない。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>身体的、精神的虐待はもちろん、言葉による虐待も行われないように、研修や勉強会を通して学び、職員同士厳重に注意し防止に努めています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>権利擁護に関する研修会等に積極的に参加し、職員やご家族への情報提供を行い、いつでも活用できるようにしています。成年後見人制度について現在申請、活用中の方もおられます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時は、必ず共に読み合わせを行い、質問等の時間を設け納得していただいた上で、契約を行なっています。解除についても同様にしております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関に「ご意見箱」を設置しています、ご利用者、ご家族が職員に何でも意見、要望が言える環境にしています。運営推進会議も一役買っております。	利用者からは日々の会話の中で、家族からは面会時や運営推進会議時に意見や要望を聞いている。2ヶ月毎に職員のコメントも添えて「はるかぜ黎明便り」を送付し現状報告をしており、返信もある。出された要望で、外出の機会を増やす等、日々の生活に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎朝の申し送りや、月1回の職員会議を利用して意見や提案を聴き反映させています。	毎朝の申し送りや毎月の職員会議の折に、職員の意見や勤務希望や研修会参加等の要望を聞いている。ケアに関する意見や提案も多く運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	資格手当を支給し、資格取得の為に研修参加や、有休もとりのしやすい環境を作っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>全ての職員を対象に研修に参加できるようにしてあります。有料の研修に関しては、法人が参加費を負担しており、研修報告を行い質の向上に努めています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>鹿児島市のグループホーム協議会に加入し、随時勉強会や交流会をしています。長寿あんしん相談センターを介し、同業者との情報交換も行なっています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前、ご自宅訪問、面談、ホーム見学を行い、ご本人の意向に沿ったケアが出来るように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前いつでも、何回でも見学して頂き、管理者、職員、入居者の皆様と話をしたりして、ホームでの雰囲気などをみていただいています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居のご相談があった時、その方がグループホームの利用でいいのか、ここ以外のサービスの方がいいのではないかとよく話し合い、見極めを行い、他のサービスの紹介もしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人と人のお付き合いという姿勢で共に出来る事は一緒に行い、共に笑い、涙を流し、時にはお叱りを受けながら、信頼関係を築いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	いつでも気軽に面会に来ていただき、外出、外泊されたり、ホームや地域の催し物への参加などを一緒に楽しんでいただく機会を作っています。電話も自由に使えるようにしてあります。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族はもちろん、親戚や知人の方など、自由に交流が出来るように支援しています。	家族や友人・知人の訪問があり、お茶を飲んだりしている。理美容室、墓参り等は家族の協力を得て外出している。外食や買い物にも出かけており、手紙や電話の取次も行っている。携帯電話を持っている利用者もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	皆さんでホールで過ごされたり、歌を歌ったり、ラジオ体操ををしたり、散歩に出かけたり、お互いの居室を行き来されたり、和気あいあいとした生活を送られています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居されたご家族の方が、お花や、野菜、季節の物（カレンダー、クリスマスケーキ、おせち等）よく届けてくださり、帰省された時立ち寄って、思い出話をされたり、身近な方の相談を持ってこられたりと交流が続いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の希望や思いを最優先し、困難時はご家族、職員、主治医などの意見も参考にし、本人と話し合いながら、検討します。	日常のケアの中で話をし、言葉や表情から買い物に出かけたい等、本人の希望や意向の把握に努めている。困難な場合は、主治医や家族等に意見を聞きながら本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に、生活暦を聞くと共に情報収集に努め、その人らしい生活が出来るように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その方の心身状況を良く観察し、したいこと、出来る事を尊重し、大いに力が発揮していただけるように努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成にあたっては、ご本人、ご家族、主治医、職員を交えて担当者会議を開き、ご意見、ご希望が反映できるようにしています。	本人・家族・職員・主治医等の意見を聞き、本人がよりよく過ごせるように作成している。モニタリングは3ヶ月毎に実施し、見直しは6ヶ月毎に行っている。状況が変化した際は現状に即して見直しを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の健康面、生活面、リスク面を記録に残し職員間の情報共有を徹底し介護計画への見直し評価を実施しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	介護保険の中のグループホームとして対応できる事はやっています、母体が医療法人ですので、体調管理や栄養管理を支援しています。外出、外食も自由にでき、マッサージを利用されている方もいらっしゃいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	消防、警察、町内会の協力をお願いし、校区の催し物、運動会、文化祭なども招待を受け参加しています。ボランティアの方も協力的です。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族の希望されるかかりつけの医療機関、病院受診、往診をお願いしています。	利用者や家族の希望するかかりつけ医になっている。月1回の往診があり、受診は職員が対応しており、家族に結果を報告している。他科受診は家族の協力のもと支援している。主治医との連携も取れている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	母体の医療機関とホットラインを結び、いつでも相談できる体制を整えています。その他の医療機関、訪問看護とも受診、往診、訪問時相談できるようにしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関、主治医、看護師、相談委員、ご家族と情報を共有し安心して入院して頂き、できるだけ早く退院できるように支援します。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時より、重度化した時や終末期について、ご家族と話し合いをしています。主治医の意見を取り入れて、必要時看取りも検討します。	終末期に向けての指針があり、職員間での共有ができています。契約時に出来ること出来ないことの説明を行っており、状況変化にあわせて家族と話をしている。主治医・、家族・本人と話し合い方向性を共有しながら看取りも行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年2回の避難防災訓練を行なう時消防署の方より緊急時の対応の仕方を学んでいます。ホットラインを開設し24時間対応できるシステムが確立されています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>町内会や近隣住民の方、近くのケアハウスにもご協力をお願いし、避難先も公民館を確保して、地震避難訓練を行なっています。</p>	<p>年1回消防署立会いのもとで夜間想定避難訓練を実施している。自主で年2回、地震や桜島噴火想定訓練、災害報告等の点検、通報の方法などの確認をしている。近隣住民との協力体制もできており、避難先は近隣のコンビニや公民館になっている。スプリンクラーや自動火災報知機、火災通報装置も設置されている。水、米、非常食、乾パン、缶詰、カップラーメンなどの備蓄もある。ヘルメット、ポータブルトイレ、オムツ、カセットコンロ等も用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>言葉の暴力には十分配慮しております。特に目、耳の不自由な方への声かけには周りにも配慮しながら行います。ゆっくり、優しく、丁寧にをモットーにしています。</p>	<p>法人研修や外部研修に参加した職員が事業所での会議で伝達し、勉強会を行って、職員の資質向上に取り組んでいる。言葉掛けやトイレ誘導、入浴介助等に配慮しながらのケアに努めている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>毎日の生活の場面場面で、話を聞き、顔色、行動、表現などからご本人の希望にそえる様に働きかけて対応しています。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>昼食、夕食はある程度時間を決めていますが、朝食や入浴はご本人の体調や希望を考慮し、希望にそった柔軟な支援を心がけています。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>ご本人、ご家族の希望や好みを活かし、清潔でいられるように訪問理容などを利用してオシャレも楽しんでいただいています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	料理の買出し、下ごしらえ、下膳など手伝ってくださいます。行事食、出前や外食も盛んで季節の食材も良く頂ます。目でも楽しませてもらっています。	旬の食材を使い、利用者の嗜好に配慮した食事を管理栄養士の助言のもと作成している。買い物や下ごしらえ、下膳等職員と一緒にしている。誕生日や行事食、出前や外食も楽しみなものになっている。週1回刺身を出しており、食事形態も利用者に合わせて行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量、食事量は毎日記録し個別に好みの物を提供しています。食事形態も、刻み、ミキサー、トロミ体調に合わせております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	理念にもあります。毎食後全員の口腔ケアを行なっています。自分で出来る方、出来ない方それぞれにあった、支援を行なっています。就寝前は義歯を預かり洗浄しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表をつけて排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行い、オムツはできるだけ使用せずに夜間もポータブルトイレを使用し自立へむけて支援しています。	排泄チェック表を作成し、排泄パターンを把握している。必要に応じて声掛けし、おむつは出来るだけ使用せずトイレ誘導を行っている。夜間のみポータブルトイレを使用し、排泄の自立支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表をつけて、排泄パターンを把握し便秘時は、処方されたお薬も使用します。毎日牛乳、ヨーグルトを提供しています。散歩、廊下歩行、ラジオ体操などを行い、身体を動かしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	日曜日以外毎日入浴できます。週2回から5回入浴されています。その日の体調や状況に応じて、柔軟に対応しています。	日曜日以外毎日入浴ができ、個々人の体調や希望に沿って柔軟に対応している。シャンプー、ボディソープ等、要望により使用し入浴を楽しめるように支援している。入浴を拒む場合はタイミングなど職員間で連携して状況改善に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼間に身体を動かしていただき、夜間眠る事が出来るように支援し、どうしても不眠の方は昼寝も促しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師や看護師、薬剤師などから説明を受けています。薬の変更時は必ず説明を受けて申し送りを行い、共有をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>食事の準備、洗濯物干し、たたみ、掃除など出来る事を一緒に行います。好きな事（買い物、ドライブ、散歩、将棋、カラオケ、外食等）を把握し個性を活かせるように心がけています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>出来るだけ希望にそえるように支援しています。花見、菊まつり、コスモス見学に出かけ、日常的に近くの公園、神社への散歩、買い物、ドライブなどに出かけています。</p>	<p>日常的に近隣の公園や神社へ散歩に行ったり、買い物やドライブ等も行っている。計画を立て、地域の行事や花見、菊祭り、買い物等できるだけ外出の機会を増やしている。さらに家族の協力で外出、外食、墓参、理美容院への支援を行っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>大金はお持ちで無いですが、財布を持ちお金を管理されている方もおられます。一緒に買い物に出かけて支払いをされています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話は自由に使えるようにしてあります。携帯電話をお持ちの方もおられます。家族の方から良く電話がかかってきます。年賀状や絵手紙のやり取りは出来ています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	お好きな絵や花、写真、季節の行事に合わせた飾りつけなどを行なっています。	共用の空間は明るく開放的で換気、温度、湿度に配慮し清潔である。フロアには季節感を大事にした飾りつけや行事の写真、絵が飾ってあり、季節の花が活かしてある。廊下が広く、鏡台もあり視覚調整にも利用している。ホールから段差なく設けられた和室やソファで快適に過ごせる様に工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事の時のテーブル席はある程度決まっていますが、その時々でソファや和室で思い思いに過ごされています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用されていた家具、電化製品、ベッド、仏壇などを持ち込んでいただき安心して生活できるようにしています。	エアコン、ベッドが設置されており、自宅で使用していた家具や仏壇、遺影、加湿器、ソファ、テレビ、冷蔵庫等、本人が居心地良く過ごせるよう配慮されている。寝具はリースである。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ハード面での問題はあると思いますが安全に生活できるように目配り、気配りをしています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない